

幼児保健指導グループ研究会

グループ員：高垣 里穂 (みずほ幼稚園)	岩本 理恵子 (せつよう幼稚園)
荒地 美春 (伊丹幼稚園)	酒井 隆子 (ありおか幼稚園)
高階 美月 (稲野幼稚園)	眞島 里佳 (こやのさと幼稚園)
松本 珠紀 (南幼稚園)	榊田 穂菜美 (すずはら幼稚園)
河本 梓 (緑幼稚園)	坂本 圭子 (おぎの幼稚園)
大野 道子 (桜台幼稚園)	田中 百代 (いけじり幼稚園)
北川 千栄子 (天神川幼稚園)	村瀬 聡美 (こうのいけ幼稚園)
担当指導主事：時村 孝完	

キーワード：保健指導 教材 研修の工夫 成長の記録 情報交換

1 研究テーマ

「幼児にわかりやすい保健指導は、どのようにすればよいか」

2 研究内容

- (1) 教材を使った保健指導や掲示物の紹介
各園で実践している教材を用いて保健指導を実演し、教材の作成方法や事例交換、意見交換を行った。
- (2) おぎの幼稚園医による研修
アレルギー、感染症、免疫細胞、熱中症、予防接種等についての講話を聴き、エピペンを実際に発泡スチロールに打つ実習を行った。
- (3) おぎの幼稚園歯科医による研修
矯正治療、癒合歯、むし歯、歯列咬合、歯みがき、口臭等についての講話を聴き、研修を行った。
- (4) 情報交換
各園のほけんだよりを交換した。



3 成果と課題

- (1) 成果
 - ① 教材を作成する際に活かせる素材や、創意工夫に富んだアイデアが見られ、今後の参考にすることができた。歌や手遊び、体操等の指導も導入することにより、幼児が楽しんで保健学習に取り組める指導ができた。
 - ② 免疫細胞の講話を聴くことができ、感染症や予防接種についての知識が深まった。また、歯列咬合や矯正治療、むし歯、歯みがきについての講話の内容が、保護者対応時の参考になった。
- (2) 課題
 - ① 今後も幼児にわかりやすい指導をめざし、保健指導の内容や教材の工夫等を考えていく必要がある。また、情報交換を続け、各園での保健活動に役立てていく必要がある。
 - ② 今後、研究内容を深めていくために、健康に関する知識の向上及び家庭との連携のあり方についての研修内容を設定していく。
 - ③ 3歳児を対象とした保健学習づくりについて、情報交換等を行い、実践に活かしていく必要がある。

